

エンジェルビジョン グラスリーダー

取扱説明書

目次

1、はじめに。.....	4
1-1、取扱説明書音声 CD について。.....	4
1-2、内容物。.....	4
2、本機について。.....	5
2-1、各部の呼称および機能の説明。.....	5
2-1-1、本体外側。.....	6
2-1-2、本体下面。.....	6
2-1-3、本体内側（メガネへの取付面）。 ..	7
2-1-4、本体前面。.....	8
2-1-5、本体後部。.....	8
3、使用前にご確認ください。.....	8
3-1、使用環境について。.....	8
3-2、原稿の持ち方及び注意点。.....	8
3-3、用語の説明（タッチバーの操作について）。 ..	10
3-4、バックルの取付方法。.....	10
4、使ってみましょう。.....	11
4-1、初めて本機を使う場合。.....	12
4-2、電源を入れる。.....	12
4-3、原稿を読み取り、読み上げ。.....	12
4-4、読み上げ中の操作。.....	13
4-5、音量を調整する。.....	13
4-6、休止モード。.....	14
4-7、電源を切る。.....	14
5、本機の設定モード。.....	15
5-1、設定モードの入り方と終了。.....	15

5-2、 設定モードを使う。.....	15
5-2-1、 設定モードで音量を調整する。..	16
5-2-2、 読み上げ速度を調整する。.....	16
5-2-3、 ボイスを選択する。.....	17
5-2-4、 イヤホン接続設定。.....	17
5-2-5、 インターネット接続（ソフトウェアのアップグレード）。.....	18
5-2-6、 ソフトウェアのバージョン。.....	19
5-2-7、 リセット。.....	20
5-2-8、 取付位置の切り替え。.....	20
6、 充電とバッテリー。.....	21
6-1、 バッテリー残量の確認。.....	21
6-2、 バッテリーの充電方法。.....	21
6-3、 バッテリーについての注意事項。.....	22
6-4、 正常に充電が行えない場合の対処法。.....	22
7、 故障かなと思ったら…。.....	23
7-1、 電源が入らない。.....	23
7-2、 充電できない。.....	23
7-3、 タッチバーをクリックしても反応しない。.....	24
7-4、 原稿を認識できない。.....	24
7-5、 動作の異常など。.....	25
8、 注意事項。.....	25
9、 免責事項。.....	26
10、 仕様情報。.....	27
11、 お問い合わせ窓口。.....	28

1、はじめに。

この度は、エンジェルビジョン グラスリーダー（以下、本機と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は NEXTVPU 社が開発した視覚障害者用携帯型音声読み上げ装置です。

メガネに装着し、電源を入れ、読み上げたい原稿を本機の正面に持ってくるだけで、自動で原稿を認識し原稿の内容を音声で読み上げます。最適な撮影距離は原稿のサイズや素材によって異なりますが、名刺などの小さなものから、A4 サイズの本やコンピューターのメールまで読み上げてくれます。

1-1、取扱説明書音声 CD について。

ご使用前に取扱説明書音声 CD をお聞きいただき、正しく本機をご使用ください。本機の仕様などは予告なく変更されることがあり、取扱説明書音声 CD の内容が最新ではない可能性がありますので、予めご了承ください。

1-2、内容物。

本機のパッケージの内容物は以下の通りです。すべて揃っているかご確認ください。

エンジェルビジョン グラスリーダー（本体）

AC アダプター、電源ケーブル

メガネのフレーム

右耳用バックル（メガネのつるに取付け済み）

右耳用バックルのゴムシート（1mm・1.6mm）
スクリウドライバー（バックル取付け用）
ストラップ、収納袋
取扱説明書、取扱説明書音声 CD
簡単マニュアル、各部の名称、設定メニュー項目一覧
製品保証書、および、ユーザー登録用紙

※メガネのフレームについて

付属品のメガネには、レンズは装着されていません。
右耳用のバックルは、つるの前から 2cm 付近に取付けられています。

内容物に過不足がありましたら、ご購入いただいた販売店、
もしくは 11. お問い合わせ窓口、の章に記載されているお問
い合わせ窓口までご連絡ください。

2、本機について。

この章では、本機の外観の特長や各部の機能について説明
します。

2-1、各部の呼称および機能の説明。

ここでは各部の名称と位置、そしてそれぞれの機能を説明しま
す。本書の説明の位置や方向については、メガネの右側へ装
着した場合を想定して説明しています。

2-1-1、 本体外側。

本体外側には、タッチバーと電源ランプがあります。

タッチバー。

外側面のほぼ全てがタッチバーとなっており、クリック、スライド、長押しする等の動作で、操作することができます。詳しい説明は、4. 使ってみましょう、の章をご参照ください。

電源ランプ。

外側面の後部に位置し、本体が作動中に緑色に点灯し、バッテリーが 30%以下になると赤色の点滅に変わります。休止中は青色の点滅となります。電源をオフにするとランプは消灯します。

2-1-2、 本体下面。

本体下面には、電源ボタンと充電用接続端子があります。

※本体を左側へ取付けた場合は、電源ボタンと充電用接続端子が本体の上面になりますので、ご注意ください。左側への取付けには別売りの左耳用のバックルが必要になります。ご購入をご希望の方は、販売店、もしくは 11. お問い合わせ窓口、の章に記載されているお問い合わせ窓口までご連絡ください。

電源ボタン。

下面の中心より少し前寄りに位置し、少し出っ張りのあるボタンです。このボタンを5秒ほど長押しすると、電源が入ります。また、3秒ほど長押しすると、電源が切れます。電源オンの状態で電源ボタンを短く押しすと、任意で休止モードに入り、もう一度押せば、休止モードから復帰します。

充電用接続端子。

下面の後部に位置し、長さ1cm程度の長方形の凹みがあります。この端子は、充電を行う際に、電源ケーブルを接続する端子です。

2-1-3、 本体内側（メガネへの取付面）。

本体内側には、マグネットとブラケット、スピーカーがあります。

マグネットとブラケット。

内側面中央の突起部分がマグネット及びブラケットになります。本体をメガネに取付ける際に使います。

※マグネットは、強力な磁石になっていますので、異物の吸着にご注意ください。

スピーカー。

内側面の後部に位置し、少し凹みがある部分が音声が出るスピーカーになります。

2-1-4、 本体前面。

本体前面には、カメラがあります。

カメラ。

カメラは、前面の中央に位置し、目の前にある原稿を読み取ります。カメラが汚れると読み取り精度に影響が出ますので、カメラを指で触らないでください。

2-1-5、 本体後部。

本体後部には、ストラップ取付金具があります。

ストラップ取付金具。

後部の中央に位置し、付属品のストラップの先端が取り付けられています。本機の落下を防ぐため、または持ち運びをより快適にするため、ストラップの取付を推奨します。

3、 使用前にご確認ください。

3-1、 使用環境について。

本機は、通常の電灯下等のある程度の明るさを必要とします。また、周辺の物の影などが原稿に入り込むことで、読み上げに影響する場合がありますので、環境にご注意ください。

3-2、 原稿の持ち方及び注意点。

原稿は、文字と文字背景に一定のコントラストがあることが望ましく、白い背景で黒い文字を推奨します。また、できるだけ反射しないようにしてください。本機は、原稿の文字の向き

や、原稿を持つ位置が正しくなければ、読み上げることができません。原稿の向きは、上向き（文字が読める向き）でなければ正常に読み上げることができません。原稿のサイズに対する最適な撮影距離は以下の通りです。

名刺や薬箱など小さな品物	約 25cm の距離で撮影してください。
B5 サイズの用紙	約 30cm の距離で撮影してください。
A4 サイズの用紙と B5 サイズの本（見開きで B4 サイズ）	約 35cm の距離で撮影してください。本の場合はしっかり開いてください。
A4 サイズの本（見開きで A3 サイズ）	約 45cm の距離で撮影してください。本はしっかり開いてください。
メール（A4 サイズの画面の場合）	約 35cm の距離で撮影してください。画面の光の反射を抑えて、パソコンの全画面表示で撮影してください。

なお、読みたい原稿の近くに別の原稿がある場合、別の原稿も読み上げてしまう可能性があります。可能な限り読みたい原稿の近くに他の原稿を置かないようにしてください。

また、本機と原稿の距離が近い場合などは、文字を遠くへ移動や、本機と原稿に位置のずれがある場合には、文字を右へ

移動など上下左右の音声ガイドを出しますので、音声ガイドに従って原稿を調整してください。何度読み取らせても、本機が原稿を認識しない場合、原稿が裏表になっている可能性がありますので、原稿の裏表を変えてお試してください。原稿の向きが違う場合は、正常な読み上げとはなりませんのでご注意ください。

3-3、用語の説明（タッチバーの操作について）。

クリック・・・タッチバーを1本の指で触れてすぐに離す操作。

長押し・・・タッチバーを1本の指で1秒程度タッチして離す操作。

スライド・・・タッチバーを1本の指で前方、又は、後方へなぞってから離す操作。

ダブルクリック・・・タッチバーを1本の指で素早く2回タッチして離す操作。

3-4、バックルの取付方法。

本機を他のメガネや左側に取付ける場合（左側の取付けには別売りの左耳用バックルが必要）についての説明となり、付属のメガネ（右耳用バックル取付け済み）をそのまま使用される場合は、この項目は特に必要ありません。

尚、バックルの取付は、ネジで締め付ける為、つるに傷跡が残る場合がありますので、ご了承の上、取付けをお願いいたします。また、ネジの締めすぎによる破損にご注意ください。

他のメガネに右耳用バックルを取付ける場合には、まず、付属のメガネからバックルを取り外す必要があります。バックルの中央（磁石と磁石の間）にあるネジを付属のスクレュードライバーで緩めて取り外してください（少し緩めるとつるに対して上側へ外れます）。次に他のメガネのつるの同じような位置にバックルを乗せます。ネジを締める前にバックルとつるに隙間がある場合には、バックルをつるから外し、付属のゴムシートをバックルのネジが付いていない方の内側に貼り付けます。ゴムシートは厚みが2種類ありますので、隙間に応じて使用してください。隙間調整後バックルを再度つるに乗せ、バックルとつるを押さえながらネジを締め付けます。バックルはつるに平行ではなく少し前かがみの斜めに付くのが正常な状態です。次にバックルを引っ張ってみてつるから外れなければ取付け完了です。

※左側への取付方も内容は同じですが、左耳用のバックルが必要になります。左耳用バックルは別売りのオプションの為、商品には付属していません。ご購入をご希望の方は、お買い求めいただいた販売店、もしくは 11. お問い合わせ窓口、の章に記載されているお問い合わせ窓口までご連絡ください。

4、使ってみましょう。

この章では本機の基本的な使用方法を説明します。

4-1、初めて本機を使う場合。

ご購入後に初めて本機を使う場合、まずバッテリーを充電してください。バッテリーを充電するには、付属の AC アダプターと電源ケーブルを使用してください。充電の詳しい説明は、6. 充電とバッテリー、の章をご参照ください。

4-2、電源を入れる。

電源ボタンを約 5 秒長押しして、本体の電源を入れます。電源を入れると、電源ランプが 5 秒ほど赤く点灯した後、メロディーが流れ、電源ランプが緑色に変わり、「エンジェルビジョン グラスリーダーへようこそ」という音声ガイドが流れ、使用可能な状態になります。

4-3、原稿を読み取り、読み上げ。

本機を起動後、自動的に文書識別モードに入ります。文書識別モードは、読み上げをする為のモードです。

本機と原稿の位置などがずれている場合は、読み取れる方向へ原稿の移動を指示してくれますので、指示に従って原稿を移動してください。本機が原稿を認識できるとピー、ピーという作動音の後にシャッター音がして原稿を撮影し、「識別中、しばらくお待ちください」という音声ガイドが流れ、メロディー音の後に読み上げを開始します。最後まで読み終わると、終了音がして読み上げを停止し、再び文書識別モードに戻ります。

手動で写真を撮りたい場合、タッチバーをクリックしてください。

読み取り中は、本体と原稿を動かさないでください。原稿の状態や周囲の環境によっては、正確に読み上げる場合と、読み上げない場合があります。予めご了承ください。

4-4、読み上げ中の操作。

読み上げを一時停止するには、タッチバーをクリックしてください。再度、タッチバーをクリックすると、読み上げを再開します。また、タッチバーを前方にスライドすると早送り、後方にスライドすると巻き戻しができます。

読み上げ中に文書識別モードに戻るには、タッチバーをダブルクリックしてください。現在の読み上げを中止し文書識別モードに戻ります。

※タッチバーの操作の注意点として、長押しをすると設定モードに入る場合やスライド操作においてもゆっくりの操作だと設定モードに入ってしまう場合がありますのでご注意ください。操作中に設定モードに入ってしまった場合には、タッチバーを長押しするか、そのまま約 30 秒放置すれば文書識別モードになりますので、再度読み取りを行ってください。

4-5、音量を調整する。

音量が調整出来るのは、文書識別モードの状態と、設定モードでの音量設定の項目となり、読み上げ途中での音量調整はできませんので、原稿の認識前に音量調整を行ってください。ここでは文書識別モードの状態での説明となります。タ

タッチバーを前方にスライドすると、音量が大きくなり、後方にスライドすると、音量が小さくなります。

※文書識別モードの状態での音量調整では、音量レベルや音量アップ／ダウンなど音声ガイドでのお知らせがありませんので、ご注意ください。設定モードでの音量設定については、5-2-1、設定モードで音量を調整する、の章をご参照ください。

4-6、 休止モード。

休止モードは、電源ボタン以外の操作を無効にするモードで、タッチバーの操作が無効になり、音声ガイドも休止します。

電源が入っている状態で、電源ボタンを短く押すと、任意で休止モードにすることができます。また、文書識別モードで、文字が検出できませんの音声ガイドが約 40 秒間続くと自動的に休止モードに入ります。休止モードに入ると、休止中の音声ガイドが流れ電源ランプが青色に点滅します。休止中から復帰するには電源ボタンを短く押します。

※休止中から復帰すると、文書識別モードになります。

4-7、 電源を切る。

本体の電源が入っている状態で、電源ボタンを約 3 秒長押しすると、メロディーが流れ、本体の電源が切れます。ただし、休止中の状態から電源を切る場合は、一度電源ボタンを短く

押し、休止中を解除してから電源ボタンを約 3 秒長押しをすれば電源が切れます。完全に本体の電源が切れると、電源ランプが消灯します。

5、本機の設定モード。

この章では本機の設定モードについて詳しく説明します。

5-1、設定モードの入り方と終了。

設定モードに入るには、本体の電源が入っている状態で、タッチバーを長押ししてください。設定モードに入ると、設定モードの音声ガイドが流れます。設定モードを終了するには、タッチバーを長押しするか、約 30 秒そのまま放置すると、設定モードを終了します。設定モードを終了すると、文書識別モードに戻ります。

5-2、設定モードを使う。

本機の設定モード項目は、音量設定、読み上げ速度設定、ボイス設定、イヤホン接続設定、インターネット接続設定、ソフトウェアのバージョン、リセット、取付位置の切り替え、の八つです。タッチバーを長押しして設定モードに入ると、まず、設定モード中の操作説明、バッテリー残量の音声ガイドが流れ、その後、設定モードの音量設定の項目となります。各項目に移動するには、タッチバーを前方にスライド又は、後方へスライドする度に、項目が切り替わり移動ができます。タッチバーを前方にスライドすれば、上記の項目の順番で項目が切り替わります。該当の項目まで移動し、タッチバーをクリックすると、

その項目の下位メニューに入ります。下位メニューを開いている場合に、タッチバーをクリックすると、現在の設定を確認できます。また、タッチバーをダブルクリックすると、上の階層に戻ります。

5-2-1、設定モードで音量を調整する。

音量を調整するには、タッチバーを長押しして、設定モードに入ります。クリックすると、現在の音量レベルを案内し音量設定の下位メニューに入ります。前方にスライドすると、音量が大きくなり、後方にスライドすると、音量が小さくなります。音量は1から8まで調整可能で、初期設定の音量は5です。調整後クリックすると、設定が保存されます。その後、長押しをすると文書識別モードになります。

5-2-2、読み上げ速度を調整する。

読み上げ速度を調整するには、タッチバーを長押しして、設定モードに入ります。前方又は後方にスライドして、設定メニューの項目の読み上げ速度設定に移動します。クリックすると、現在の読み上げ速度を案内し読み上げ速度設定の下位メニューに入ります。前方にスライドすると、読み上げ速度が上がり、後方にスライドすると、読み上げ速度が下がります。読み上げ速度は1から5まで調整可能で、初期設定の速度は1です。調整後クリックすると、設定が保存されます。その後、長押しをすると文書識別モードになります。

5-2-3、 ボイスを選択する。

読み上げボイスを選択するには、タッチバーを長押しして、設定モードに入ります。前方又は後方にスライドして、設定メニュー項目のボイス設定に移動します。クリックすると、現在のボイスを案内しボイス設定の下位メニューに入ります。前方又は後方にスライドして、男性か女性かを選択可能で、初期設定のボイスは男性です。クリックすると、設定が保存されます。その後、長押しをすると文書識別モードになります。

5-2-4、 イヤホン接続設定。

この設定では、Bluetooth イヤホンを接続する事が出来ます。接続するには、タッチバーを長押しして、設定モードに入ります。前方又は後方にスライドして、設定メニュー項目のイヤホン接続設定に移動します。本機と接続する Bluetooth 機器をペアリング状態にしてからタッチバーをクリックすると、Bluetooth 接続の下位メニューに入り、もう一度クリックすると Bluetooth がオンの状態になり、接続機器の検索を始めます。検索中にはメロディーが流れ、検索が終わりましたら音声ガイドでお知らせしますので、スライドして、検索された Bluetooth 接続機器を選択します。クリックして、接続機器に接続します。

※本機の Bluetooth 接続については、1 度ペアリングを行っても電源を切るなどして接続を切断した場合には、自動では接続しませんので、再度接続設定を行う必要があります。

注意：接続できる Bluetooth バージョンは、4.0 まで確認されています。Bluetooth バージョン 4.1 以上のイヤホンは、使えるものもありますが、確実ではありませんので、ご了承ください。

5-2-5、インターネット接続

(ソフトウェアのアップグレード)。

Wi-Fi の設定を行うことにより、インターネットに接続し、新しいソフトウェアがある場合には、アップグレードすることができます。Wi-Fi を設定するには、スマートフォンが必要となりますので、スマートフォンをご用意ください。

スマートフォンにて、下記の Wi-Fi 接続アプリの二次元コードをスマートフォンの機種に合わせて読み取り、アプリをダウンロードしてください。ダウンロードを終了すると「AngelVision(エンジェルビジョン)」というアプリができますので、そのアプリを開いて、デバイス選択で「グラスリーダー」を選択し、アプリに従って二次元コードを作成してください。本機の Wi-Fi は、2.4GHz 対応となります。



Android



iOS

Wi-Fi に接続するには、タッチバーを長押しして、設定モードに入ります。前方または後方にスライドして、設定メニュー項目のインターネット接続設定に移動します。クリックすると、インターネット接続設定の下位メニューに入ります。もう一度クリックするとスマートフォンにアプリを入れる方法などの案内があります。もう一度クリックすると、スマートフォンの二次元コードを読み取る為のカメラが起動しますので、スマートフォンで作成した二次元コードをカメラの前にかざしてください。接続が成功し、新しいソフトがある場合には自動でアップグレードが始まります。

※ソフトウェアをアップグレードするには、Wi-Fi に接続しなければなりません。また、バッテリーは最低でも 50%以上であることが必要です。インターネットに接続後、自動的に最新バージョンのソフトウェアにアップグレードします。タッチバーをスライドすれば更新の進捗状況を確認できます。アップグレードが完了したら、本機は自動的に再起動します。

※ご自宅に Wi-Fi の環境がなく、ご自身でアップグレードができない場合は、お買い求めいただいた販売店、もしくは 11. お問い合わせ窓口、の章に記載されている窓口までご連絡ください。

5-2-6、ソフトウェアのバージョン。

タッチバーを長押しして、設定モードに入り、前方又は後方にスライドして、設定メニュー項目のソフトウェアのバージョンに

移動します。クリックすると、現在のソフトウェアバージョンとシステムバージョンを確認することができます。

5-2-7、リセット。

本体が正しく動作しないなどの場合に、本体をリセットすることができます。リセットを行うと、出荷時の状態に戻ることができます。タッチバーを長押しして、設定モードに入ります。前方又は後方にスライドして、設定メニュー項目のリセットに移動します。クリックすると、リセットモードに入り、もう一度クリックすると、「リセットしますか？」という音声ガイドが流れます。再度クリックすれば、本体をリセットします。また、ダブルクリックすると、リセットせずに設定モードに戻ります。

リセットを行うと、下記の項目が出荷時の状態に戻ります。音量は5、読み上げ速度設定は1、ボイス設定は男性に設定されます。

5-2-8、取付位置の切り替え。

左耳を利用される方は、本体をメガネの左側に取付けることが可能です。その場合、本体の取付け位置を左側に切り替える必要があります。タッチバーを長押しして、設定モードに入ります。前方又は後方にスライドして、設定メニュー項目の取付位置の切り替えに移動します。クリックすると、取付位置の切り替えの下位メニューに入ります。スライドして、右側か左側かを選択し、クリックすると、設定が保存されます。

※左側への取付には、メガネに取付ける為の左耳用のバックルが必要になります。左耳用バックルは別売りのオプションの為、商品には付属していません。ご購入をご希望の方は、お買い求めいただいた販売店、もしくは 11. お問い合わせ窓口、の章に記載されているお問い合わせ窓口までご連絡ください。

6、充電とバッテリー。

この章では本機のバッテリーと充電方法について詳しく説明します。

6-1、バッテリー残量の確認。

文書識別モード及び読み上げ中にタッチバーを長押しして、設定モードに入ると、音声ガイドにて、設定モードの操作説明に続いてバッテリー残量を確認することができます。

6-2、バッテリーの充電方法。

バッテリーを充電する際は、AC アダプターに電源ケーブルを接続し、ケーブルの端子を本体の充電用接続端子に接続し、AC アダプターをご家庭のコンセントに接続して充電してください。バッテリーが 0 の状態で約 1 時間充電するとバッテリーがフル充電になります。バッテリーがフル充電の場合に、約 1.5 時間連続使用可能です。充電すると電源ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。

充電の注意事項として、充電には必ず付属の AC アダプターと電源ケーブルを使用してください。他の AC アダプターや電

源ケーブルは、バッテリーや本機を傷める可能性があり、最悪の場合、発火する可能性があります。

また、充電中は、電源ケーブルが引っ張られるなどの負担がかからないようにご注意ください。ケーブルの断線や本機の充電用接続端子の破損に繋がります。また、本機から電源ケーブルを外す際は、ケーブルの根本を持って抜いてください。

6-3、バッテリーについての注意事項。

長期間使用されない場合は、満充電まで充電を行った後、保管を行い1～2か月に1回は充電を行うようにしてください。

電源が入らない状態までバッテリーを使い切った場合は、速やかに充電を行ってください。使い切った状態が長く続くと、バッテリーの寿命に影響する場合があります。約2週間放置すると、正常な充電が行えない場合があります。そのような場合は、下記の対処法を行ってください。

6-4、正常に充電が行えない場合の対処法。

充電を行っても本体の電源ランプが点灯せず、充電が正常に行えない場合は、接続したまま（電源ランプは点灯しない状態で）12時間以上放置してください。

その後、一度接続を外し、約1分後に再接続をしてください。接続後、30分～1時間後に電源ランプが点灯し、正常な

充電が行われます。充電完了後、通常通りご使用できます。

上記の確認を行っても正常な充電が行えない場合は、他の箇所に原因が考えられますので、ご購入いただいた販売店もしくは、11. お問い合わせ窓口、の章に記載している窓口までご連絡ください。

7、故障かなと思ったら…。

まず、以下をご確認いただき、それでも解決できない場合は、ご購入いただいた販売店もしくは、11. お問い合わせ窓口、の章に記載している窓口までご連絡ください。

7-1、電源が入らない。

- ① 充電がなくなっている可能性があります。充電を行ってください。

7-2、充電できない。

- ① 一度本体と電源ケーブル、電源ケーブルと AC アダプターのそれぞれの接続を外して、再度接続し直してください。
- ② それでも改善しない場合は、ご家庭の別のコンセントで充電してみてください。
- ③ それでも改善されない場合は、6-3. バッテリーについての注意事項、6-4. 正常に充電が行えない場合の対処法を参照し、対処法をお試ください。

7-3、タッチバーをクリックしても反応しない。

- ① 休止モードに入っていないか確認してください。休止モード中は、電源ランプが青色に点滅します。休止モードを解除するには電源ボタンを短く押してください。
- ② それでも反応しない場合は、電源が入っているかを確認してください。電源が入っていると、電源ランプが緑色に点灯します。電源が入らない場合は、本体を充電してください。充電状態で電源を入れて、再度タッチバーをクリックしてください。

7-4、原稿を認識できない。

- ① 一度タッチバーをクリックして、手動で写真を撮ってみてください。
- ② 原稿を裏向きに持っていないか確認をしてください。
- ③ 再度原稿を持ち直して、読み込んでください。原稿の位置や方向により、認識できない場合もあります。この時、本体の指示に従ってください。
- ④ また、本機の撮影範囲に原稿以外の印刷物や物体などがあると、それらを認識してしまい、原稿をうまく読み取らない場合があるため、撮影範囲にものを置かないようにしてください。
- ⑤ カメラにホコリ・ゴミ・油脂などの汚れが付着していないか確認してください。汚れが付いていると、認識できなくなる可能性もあるため、柔らかい布で優しく取り除いてください。
- ⑥ 設定モードの取付位置の切り替えが間違っていないか、

5-2-8. 取付位置の切り替え、の章を参照して確認してください。

- ⑦ 上記を試していただいても認識できない場合は、一度電源を切って、再度電源を入れ直して、読ませてみてください。

7-5、動作の異常など。

本体をリセットしてください。リセットするには5.2.7. リセット、の章をご参照ください。リセットすると、出荷時の状態に戻ります。

8、注意事項。

本機を安全かつ正しく使用するため、本機を使用する前に取扱説明書をよくご確認ください、下記の安全上の内容にご注意ください。

本機を清掃する際は、必ず電源ケーブルを抜き、電源を切ってから、柔らかい布で外側を拭いてください。研磨剤や薬品を使つての清掃は故障の原因になりますので、研磨剤や薬品は使用しないでください。

本機は丁寧に扱う必要があります。大きな衝撃や振動を加えないでください。手荒に扱い、ぶつかけたり振り回したりすると、破損や故障の原因になります。

本機を人為的に汚染された環境に置かないでください。

本機を使用する際には、ベンゼン、シンナーなどの化学薬剤に触れないようにしてください。また、火元から離してください。

本機を高温高湿環境下に置かないでください。また、負傷や

使用中の感電を防止するため、本機を水や洗剤などで洗浄しないでください。

本機のいかなる部品も、自分で分解、修理、改造、交換しないでください。また、本機に異常を感じた場合には、直ちに使用を中止し、点検や修理は必ずご購入いただいた販売店または 11. お問い合わせ窓口、の章に記載されているお問い合わせ窓口にご依頼ください。

本機を廃棄される場合は、お住いの自治体の分別指示に従って処分してください。

本機を充電する際は、付属の AC アダプター、電源ケーブルのみを使用してください。別の AC アダプター、電源ケーブルを使用すると、本機の保証が無効になるだけでなく、重大な事故や災害が発生する可能性があります。

本機は小さなお子様の手が届かないところに置いてください。

9、免責事項。

- ① ユーザーの合法的な権益を保護するために、本機を使用する前に、取扱説明書、注意事項と免責事項をよくお読みください。なお、上記内容を予告なしに変更または廃止される場合がございます。本機は、取扱説明書および注意事項に従って操作する必要があります。
- ② 本機の使用を始めると、ユーザーは本機の手取扱説明書、注意事項と免責事項の条項と内容を理解し、承認したとみなされます。ユーザーは自分の行為とそれによって発生するすべての結果に対して責任を取ることを承諾し、正当な目的でのみ本機を使用することを約束し、この

条項および当社が策定した任意の関連政策または方針に同意したとみなされます。

- ③ 本機を使用する際には、取扱説明書や注意事項に含まれる要件を厳格に遵守し、実行する必要があります。注意事項に違反する使用行為または不可抗力によるすべての人身傷害、事故、財産損失、法律紛争、その他すべての利益衝突をもたらす不利な事件については、すべてユーザー自身が責任と損失を負担し、当社はいかなる責任も負いません。ユーザーが本機を使用して行った、いかなる直接または間接的な法律規定に違反する行為について、当社はいかなる責任も負いません。
- ④ 当社は、本機の欠陥、瑕疵、補修によるいかなる間接的な損失（利益、予想利益、時間等の損失を含む）を負担せず、当社の本機及び修理に対する賠償責任は、ユーザーが本機を購入して実際に支払った金額を超えません。

10、仕様情報。

モデル番号：SR-W1

サイズ：約 70mm x 26mm x 15mm

重量：約 30g

作動温度範囲：0°C~40°C

Wi-Fi：2.4GHz

Bluetooth：バージョンが 4.0 以下の機器が接続できます。

電源：DC 5V/2A

材質：PC + ABS

バッテリー容量：500mAh

充電時間：約 1 時間

連続使用时间：約 1.5 時間（使用状況により、連続使用时间は変化します。）

接続端子：USB-C 接続端子

11、お問い合わせ窓口。

フリーダイヤル：0120-960-807

受付時間：平日 9:00～12:00

13:00～17:30（土曜・日曜・祝日は休み）

年末年始は 12 月 29 日から 1 月 4 日まで休み

輸入販売元：株式会社システムギアビジョン

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 1-6-11

TEL：0797-74-2206 FAX：0797-73-8894

URL：<https://www.sgv.co.jp/>

E-mail：sgv-info@systemgear.com